

カヤツリグサ科 スゲ属

# アゼナルコ (畔鳴子)

*Carex dimorpholepis* Steud.

## 自生環境

湿地、水辺、河川敷 など

## 原産地

日本在来

## 生育を脅かす要因

### 乾燥化



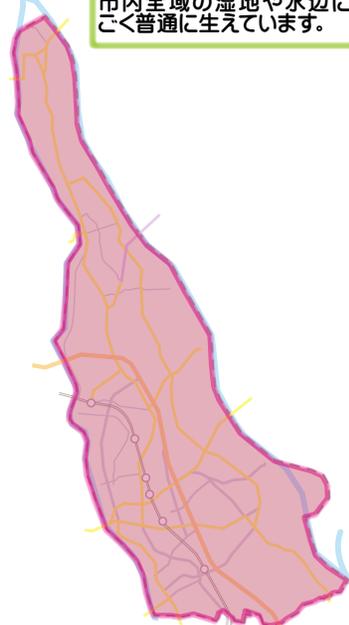
湿地や水辺にごく普通で数も多く、今のところ絶滅の心配はありません。ただ水辺の植物なので乾燥にはあまり強くなく、土の乾燥化が進行すると姿を消す傾向にあります。

## 特徴

- ☆ 市内で最も普通に見られる湿地性スゲのひとつで、水辺の日当たりの良い場所にたくさん生えています。地下茎を出さず「株立ち」になります。多年草で、しばしばかなりの大株になります。
- ☆ 葉の幅は 4 ~ 10 mm くらい。じゅうぶんに育った葉はやや黄色みがかった緑色で、裏側は白くありません。春から初夏にかけて、茎の先に長さ 3 ~ 6cm くらいの円柱形の小穂が数本垂れさがるようにつきます。この小穂を鳴子（鳥を追い払う道具）に見立てたのが名前の由来です。
- ☆ 小穂のうち、茎の一番先にある1本は、雄花と雌花が混じりますが、それ以外は雌花のみからなります。雌花の柱頭は2本に分かれます。タネを包む果胞は平たく、先がわずかにとがりません。表面をよく見ると白い粉のような突起がたくさんあります。

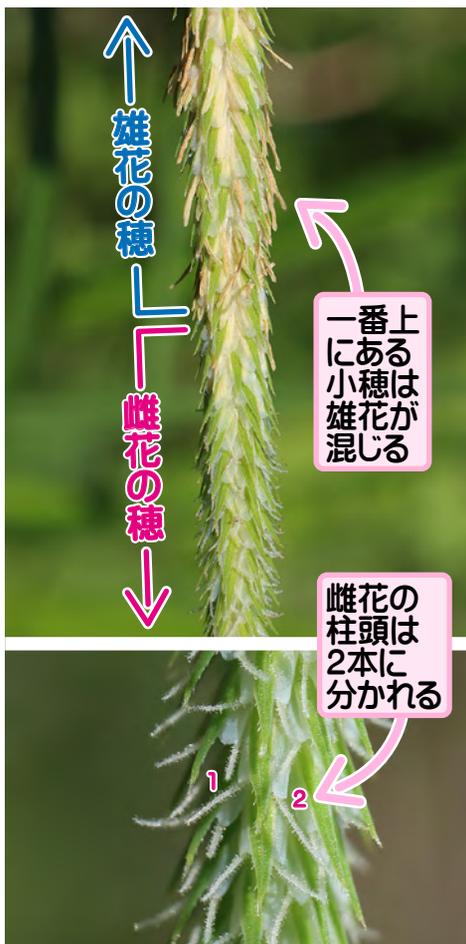
## 市内の分布状況

市内全域の湿地や水辺にごく普通に生えています。



## 覚えておきたいスゲのひとつ

スゲの仲間は日本に約 270 種類あり、それ専用の厚い図鑑もあります。市内にもさまざまな種類のスゲが見られますが、いかにせん種類が多く、どれもよく似ているため、観察時のハードルは高めかもしれません。そこでまずは遭遇頻度が高く、見分けやすい種類から入るのがおすすめです。中でもアゼナルコは水辺を代表するスゲのひとつなので、最初に押さえておきたいところです。



わびちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

